

# 第 82 回 労使懇談会 報告

日 時 ; 2018 年 2 月 4 日 ( 日 ) 14 : 00 ~

会 場 ; 熱海聚楽ホテル 月の栖 ( 静岡県熱海市田原本町 2-19 )

参加者 ; 労働側 阿部執行委員長 橋本副執行委員長 照井書記長 ( 報告者 )  
小川書記次長 竹内書記次長  
企業側 高橋代表取締役社長 望月安全推進部部长 三井人事労務部長

運輸労連神奈川県連合会に集う 13 単組とその企業側代表者、運輸労連中央本部より参加された、世永中央副執行委員長を含む計 78 名が、2018 春闘に向けた前段協議を“まじめな話を気楽に”行う場として、労使懇談会に臨みました。

今回当番幹事を仰せ付かった川崎運送労働組合でありましたが、本来当番幹事書記長が行う司会を、亀崎県連執行委員長が執り行いました。労使懇談会を進めて行くうえで、神奈川県連の新たな試みを実施して頂きました。

労働者側代表挨拶は川運労組 阿部執行委員長が行い、労働力・人手不足、労働環境の改善、人材育成を訴え、企業側代表挨拶では川崎運送(株)高橋 浩治 代表取締役社長が、法的な取引環境の改善、車両確保の困難さなどによる運賃・料金改定が今年、ヤマ場を迎えるのではないかと見解を示しました。

続いて、世永中央副執行委員長より「運輸業界における働き方改革への対応」をテーマに講演を行って頂き、運輸労連の活動、各省庁への働きかけ、労働時間への対応、春闘前に確認しておく項目などの御話しを頂きました。

講演終了後、世永中央副執行委員長への質問を亀崎県連執行委員長のリーダーシップ(?)のもと、3 名が指名され、「障がい者雇用」、「労働者を守る」、「運転時間」について質問し、丁寧なお答えを頂きました。世永中央副執行委員長には全国を駆け回る中、神奈川県連 労使懇談会に参加して頂いたことに感謝いたします。



川崎運送 高橋社長と阿部委員長



亀崎委員長と世永中央副執行委員長



“一丁締め”で終了

懇親の部では高橋社長の乾杯、次回秋の第 83 回労使懇談会当番幹事、日通湘南物流労組 小久保執行委員長が閉会の挨拶を行い、熱い業界への思いのたけを表し、無事幕を閉じました。

当番幹事とは名ばかりで、この裏側を支えて頂いた神奈川県連執行部の皆様、また今回参加され、労使で建設的な討議を行われた参加者の皆様。この場を借りて感謝の言葉を言わせていただきます。ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。